

# 東北の小京都たなぐら

## 秋のおすすめスポット

福島県棚倉町は、陸奥一宮である馬場都々古別神社と、奥州一宮である八槻都々古別神社の2つの一宮が現存するなど、多くの神社仏閣が残る情緒あふれる城下町です。秋には美しい紅葉を楽しむことができます。今回は、秋のおすすめスポットと町内の和菓子をご紹介します。

■お問い合わせ

棚倉町観光協会

☎ 0247-33-7886



棚倉町シンボルキャラクター「たなちゃん」



Photo: 芳賀元昌

たなぐらじょうあと  
棚倉城跡 (大字棚倉字城跡) 国指定史跡

秋には、お堀を囲むように木々が色鮮やかに紅葉し、美しく飾られる城跡が楽しめます。また、追手門跡付近に佇む推定樹齢640年の大ケヤキは、棚倉町のシンボルとなっています。

やまもとぶどうそん  
山本不動尊

(大字北山本字小檜沢 94-2)

山本不動尊の「もみじ参道」は、駐車場から護摩殿までの紅葉のトンネルを楽しめます。カメラを構える観光客も多く訪れます。



やつきつ つ こわけじんじや  
八槻都々古別神社  
(大字八槻字大宮 224)

本殿の朱塗りが今も残る「八槻都々古別神社」は福島県を代表する奥州一宮です。落ち着いた空気が満ちあふれ、美しいイチョウの絨毯を楽しめます。

この記事は八溝山周辺地域  
定住自立圏の連携事業です



八溝山周辺地域  
定住自立圏

平成26年1月、栃木県(大田原市・那須塩原市・那須町・那珂川町)・福島県(棚倉町・矢祭町・塙町)・茨城県(大子町)の2市6町による『八溝山周辺地域定住自立圏域』が形成されました。圏域の地域活性化につなげる取り組みの一環として、圏域市町のPR情報をお届けします。

## 城下に残るたなぐらの和菓子

いちごの甘味が  
口いっぱい広がる

いちご大福



甘盛堂

(棚倉字新町 86)

☎ 0247-33-3056

☎ 8:30 ~ 19:00

☎ 火曜日

※祝日などで定休日が変更になる場合があります。

生のブルーベリーが  
ごろっと入った

ブルーベリー大福



玉屋菓子店

(逆川字向原 52)

☎ 0247-33-6715

☎ 9:00 ~ 18:00

☎ 第1・第3日曜日

※ブルーベリー大福の販売は、6月下旬から9月上旬までです。

自家製あんたつぷりの

奥州山本不動まんじゅう



栄屋菓子店

(棚倉字西中居 29-5)

☎ 0247-33-2381

☎ 8:30 ~ 18:00

☎ 不定休

松茸の香りが  
ほのかに香る

まつたけ最中



おばまや

(寺山字亀崎 4)

☎ 0247-33-5825

☎ 8:00 ~ 18:00

☎ 不定休

※確実に購入したい場合は事前予約をお願いします。



勝ち鬨をあげるU字工事の益子卓郎さん(中央)と福田薫さん(左)。



与一武者行列



与一武者行列



福原の餅つき唄



大田原信用金庫の皆さん



大田原盆踊り



若草中学校吹奏楽部演奏



大田原小学校 創立150周年記念パフォーマンス



JAなすの黒羽地区女性会の皆さん



天狗至国踊り



子どもみこし



黒羽音頭

7/17

## 静かな熱戦に手に汗握る

将棋を楽しもうおおたわら 開催



市内将棋ファンを対象としたイベント「将棋を楽しもうおおたわら」が7月17日に開催されました。

今回初めての開催となる「大田原将棋名人杯」では、小学2年生から大人の方まで、学校や年齢を超えて熱い対局が行われました。

上級者向けの与一リーグで優勝した大牟禮 結人 さん(大田原中学校)が、初代大田原将棋名人の認定を受けました。



7/4

## 社会を明るくする運動

大田原保護区保護司会 メッセージ伝達



大田原市保護司会より、「社会を明るくする運動」として、内閣総理大臣からのメッセージを受け取りました。この運動は、すべての国民が、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安心で安全な明るい社会を築くための全国的な運動です。

保護司会の皆さまには、罪を犯した人たち、家族、支援者など、一人ひとりと向き合い、一日でも早く社会復帰できるようご支援をいただいています。

## 市史編さんだより vol.35

### 現代部会調査速報⑨

～街の音の記憶「お猿のかごや」～

小学校の授業中、唐突に窓から聞こえてくる童謡「お猿のかごや」の軽快でコミカルなリズム。教室中に笑いがおこり、中断される授業。筆者の小学生時代の記憶です。はて、あの「お猿のかごや」は一体何だったのか？

旧大田原市では、昭和42年(1967)8月1日の2代目<sup>じんかい</sup>塵芥焼却場の稼働に合わせ、各自治会に設置してあるごみ箱での収集を廃止し、定められた場所・時間にごみを巡回収集する方式に変え、収集車としてロードパッカー車を2台購入しました。ロードパッカー車にはチャイム(オルゴール)が取り付けられており、巡回収集時に流して収集時間をお知らせしていました。その曲名が「お猿のかごや」。小学校からの記憶が、半世紀を経て市史の1ページにつながっていることがわかり、周囲に知られないように思わず小躍りしている自分がいました。

昭和40年代・50年代の市内、特に街中に<sup>あふ</sup>溢れていた様々な音。テープなどの記録媒体には残っていないこれらの記憶も掘り起こし、可能な限り市史の記録として残していきたいと考えています。(現代部会長 木下 義文)



購入したロードパッカー車(昭和42年)



ごみ収集の様子(昭和48年頃)



塵芥焼却場(昭和42年3月竣工)

問文化振興課 TEL 0287(47)5031